

第11回全国書写書道総合大会
令和4年度全国学生書写書道展

主催 一般社団法人日本書字文化協会
共催 公益財団法人文字・活字文化推進機構
後援 文部科学省他

【大賞】

明誠学院高等学校 1年
栗原 里歩

余白の魅力に日々格闘

この度は、大賞という名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。

高校生になり、初めて書道と本格的に向き合うこととなったわけですが、習字とは違った表現の幅に戸惑いつつも、任せられた余白の魅力に魅了され、日々格闘しています。

入学後より始めた香紙切を基調として、今回の作品を書き上げました。創作するにあたり、香紙切の特徴である右回転を多用し、繊細かつしっかり芯の通った線質が引き立つように、余白を大切に書きました。難しかったですが実りある学びをさせていただいたように思います。

指導に当たってくださった先生方、毎日の部活動でお世話になっている先輩方や同級生、そしてずっと支えてくれている家族にこの場をお借りして感謝を伝えたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

今は純粋に驚きと喜びでいっぱいですが、この度の受賞を糧により一層大好きな書道に打ち込んでいきたいです。

本当にありがとうございました。